

南が丘中学校・南が丘小学校・南田中小学校

～研究主題～

ふれ合い、学びの連続性における児童・生徒の育成 ～小中9年間を見通した教育活動を通して～

小学校から中学校にかけての9年間は、児童・生徒が精神的・身体的に大きく成長をする大切な時期である。しかし、「中1ギャップ」と言われるように、小学校から中学校に進学する際に環境の変化に適応できない児童・生徒も出てきているのも現状である。このような問題を解決するために、同じ地域の南が丘中学校、南が丘小学校、南田中小学校が連携し、9年間を見通した連続性のある教育活動を行い、円滑な接続を図ることとした。

今年度の活動

3校合同生活指導に関する研究会

生活指導部会・教育相談部会・学習指導部会・中一ギャップ部会・特別支援教育部会の5つの部会に分かれ、小中間で情報交換を行った。

5つの部会ごとに生活指導の課題を話し合うことで、以下のことについて3校で共通して取り組むことになった。

言葉遣い、挨拶、安全な登下校



教科等分科会

指導内容の質の向上を目指し、小学校、中学校と授業研究を行った。

10分科会

国語・社会・算数/数学・理科・音楽・図工/美術/技術・体育・外国語・特別支援教育・養護



小学校教員、中学校教員が互いの授業を見合い、協議会を行うことで9年間を見通した連続性のある教育活動について学び合うことができた。

交流活動

子供達の豊かな心を育てるため、3校での交流活動を大切にした。

あいさつ運動



部活動体験



職場体験



中学校説明会



シューティング外



授業体験



合唱コンクール
リハーサル見学



リトルティーチャー



本年度の成果

- 交流活動において、活動の厳選、質的な向上を目指した結果、児童・生徒が活動に意欲に取り組む姿が見られた。また、時間的な効率化、そして児童・生徒への安全対策の質的向上が見られた。
- 授業研究会を通して、各教科・領域の系統性について、「学びの連続性」を観点に職員同士が学び合うことができた。